

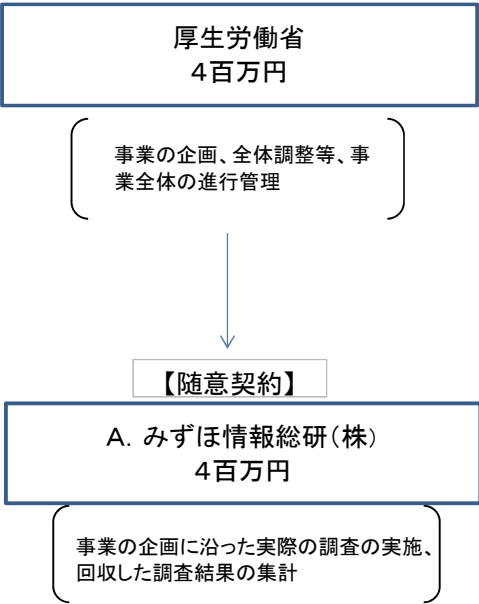
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	診療報酬体系見直し後の評価等に係る調査に必要な経費（薬剤師等病棟業務実態調査費）		担当部局庁	保険局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年	平成23年度（事業開始）		担当課室	医療課		鈴木 康裕			
会計区分	一般会計		施策名	Ⅳ－２－１ 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	社会保険医療協議会法(昭和25年法律第47号)第8条第2項		関係する計画、通知等	中央社会保険医療協議会の平成22年度答申書附帯意見					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	中央社会保険医療協議会の平成22年度答申書附帯意見において、「薬剤師の病棟配置の評価を含め、チーム医療に関する評価について、検討を行うこと」とされているところであり、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討又は検証するために、薬剤師や関係職種の病棟配置や病棟業務に係る実態等の調査を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全病院から抽出した保険医療機関を対象に、勤務医の薬物療法関連についての負担意識や薬剤師の病棟における業務の状況等についてアンケート調査を行う。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算			11	11	11		
		補正予算							
		繰越し等							
		計			11	11	11		
	執行額				4				
執行率(%)				37.1					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本調査は、診療報酬に関し、病院全般における薬剤師の病棟配置やチーム医療への貢献に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、定量的な指標を示すことは困難である。			成果実績	—	—	—	—	
				達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本調査は、保険医療機関の業務を対象とした調査・分析・集計等を実施するものであり、その実績を数量等で計れない性質のものであるため、定量的な指標を示すのが困難である。			活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
					(—)	(—)	(—)		
単位当たりコスト	— (円/)			算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	薬剤師等病棟業務実態調査費		11	11					
計		11	11						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	薬剤関連の診療報酬に関する評価方法について検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	診療報酬に関する基礎資料の収集が目的であるため、国が実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	調査対象が重なる他の調査について契約している業者と契約し、効率的に実施した結果によるもの。
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	調査対象が重なる他の調査について企画競争により落札・契約した業者と契約している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	調査項目が重なる他の調査について企画競争により落札した業者と契約し効率的に実施することにより、コストの削減に努めている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	調査の実施及びとりまとめ等、事業遂行のための必要な費目・使途に限定されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	医療機関に対して直接の調査を実施することにより、直接的な回答を得ることができたことから(回答施設:1,292施設)、実効性の高い手段となっている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	薬剤関連の診療報酬に関する評価方法について検討を行うための基礎資料として必要なデータが得られており、見込みに見合った活動実績となっている。
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	薬剤関連の診療報酬に関する評価方法について検討を行うための基礎資料として活用している。
点検結果	当該調査は、中央社会保険医療協議会総会での決定を受けて、病院勤務医の負担軽減の状況調査(本調査)に別途調査項目を加えて実施したものであり、調査対象施設の大半が同一であること等から、同一業者と契約し効率的に実施したために執行率が下がったものであり、特段の問題はないと判断。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当である。引き続き必要な予算措置に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-095

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. みずほ情報総研(株)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	物件費	印刷費、郵送料	2			
	人件費	調査の実施、回収した調査結果の集計、データ入力	2			
	計		4	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みずほ情報総研(株)	事業の企画に沿った実際の調査の実施、回収した調査結果の集計	4	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					